

Luxman

VACUUM TUBE INTEGRATED AMPLIFIER

SQ-N150

Owner's Manual

このたびは、ラックスマンの真空管プリメインアンプ SQ-N150 をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NHK がラジオの本放送を開始した 1925 年、錦水堂ラジオ部として創業されたラックスマンは、90 余年にわたって数多くの製品をオーディオファンや音楽ファンに届けてまいりました。その間、いつの時代にあってもオーディオと音楽を愛する人たちの熱い心は変わりませんでした。

音楽に込められたアーティストの情念を余さず忠実に再現する、そのときの感動の深さと機器への愛着の深さこそがオーディオにとっての最高の価値であると私たちは考えます。

縁あってラックスマン製品をお選びいただきましたことは、オーディオと音楽に対して私たちと同じ情熱と価値観を共有できることであると、心から嬉しく思っております。

本機を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこのオーナーズマニュアルをよくお読みください。それによって本機の性能が十分に発揮され、最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただくことができます。お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

目次

使用上の注意	1
本機の特徴	2
各部の名称と用途	3
接続方法	6
操作方法	8
リモコンの使用方法	9
ブロックダイアグラム	10
規格	11
修理に出される前に	12
アフターサービスと品質保証について	13

アンプの置き場所について

本機は真空管アンプのため発熱量が多いので、換気や放熱が充分行われる場所に設置してください。特に、直射日光の当たる場所、ストーブのすぐそばなど高温になる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などに設置すると、放熱がスムーズでも、故障の原因になることがあります。このような場所への設置は避けてください。

通風孔について

天板・底板の通風孔は塞がないでください。なお、ラックなどへ設置する場合は、十分な空間を取り、扉は開放して使用し、他の機器を積み重ねたり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。天板の上部は 20cm 以上の空間を空け、左右は 5cm 以上の空間を空けてください。底板の下部には脚の高さの空間を空けてください。

併用機器との接続時の注意

本機に CD プレーヤー、スーパーオーディオ CD プレーヤー、アナログレコード・プレーヤー、チューナー、レコーダーなどの入力機器を接続するときには、本機をはじめ、すべての併用機器の電源スイッチを必ず切ってください。スピーカーを破損するほどのノイズが発生したり、場合によっては故障の原因になることがあります。本機の各入力端子に差し込むピンプラグは、しっかりと差し込んでください。アース側が浮いているとハムなどのノイズが発生し、S/N 比悪化の原因になります。

スピーカー接続時のご注意

スピーカーシステムを接続するときには、本機のスピーカー端子やスピーカーの入力端子のところで、⊕⊖間がショートすることのないよう十分に注意してください。ショートしたままアンプに大信号が加わると出力回路に大電流が流れ、場合によっては故障の原因になります。

電源オン後すぐには音が出ません

本機には出力回路を切り離すためのタイム・ミューティング回路が組み込まれているため、電源オン後すぐには音が出ません。

このタイム・ミューティング回路が解除される際に音量が上がっていると、急に大きな音が出てくることになります。ボリューム・コントロールは必ず小さく絞っておき、スピーカーから音が出はじめてから適度な音量にセットしてください。

修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービスセンターへご依頼ください。

お手入れについて

お手入れは、市販のクリーニングクロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。なお、ベンジン、シンナーなどの溶剤は、外観を損ねるため使用しないでください。

安全上のご注意

注意



本機は重いので、開梱や持ち運び、設置の際は充分にご注意ください。



本機は真空管を使用したアンプです。電源の入った状態では本体がかなり熱くなりますので、手で触れたりすることのないようお気をつけください。また小さなお子様や放し飼いにしたペットのいる場所でのご使用は安全のためお控えください。

本機の特徴

コンパクトな筐体設計

A4 書類サイズで外装には 5mm 厚のアルミを使用。

アナログメーター

出力レベルをモニターする針式アナログメーターを搭載。

プッシュプル出力段

5 極管接続の EL84 によるプッシュプル構成。

フォノアンプ

専用のフォノアンプを買い足すことなく、ハイグレードなアナログレコード再生を楽しめる MM/MC 対応のフォノアンプを搭載。

ヘッドフォン端子

深夜のリスニングに便利なヘッドフォン出力端子。

セレクター・スイッチ IC

フラグシップ・コントロールアンプ C-900u にも採用された、セパレーションとクロストーク性能を高める高音質セレクター・スイッチ IC。

アルミ削り出しツマミ

往年のデザインを復刻した重厚感あふれるアルミ削り出しツマミを採用。

18mm ピッチ RCA 端子

大型のプラグを装着した高音質ケーブルにも対応する、18mm ピッチの RCA 入力端子。

電源ケーブル (JPA-10000)

OFC 極太線ノンツイスト構造のラックスマン純正電源ケーブルを付属 (極性表示付)。

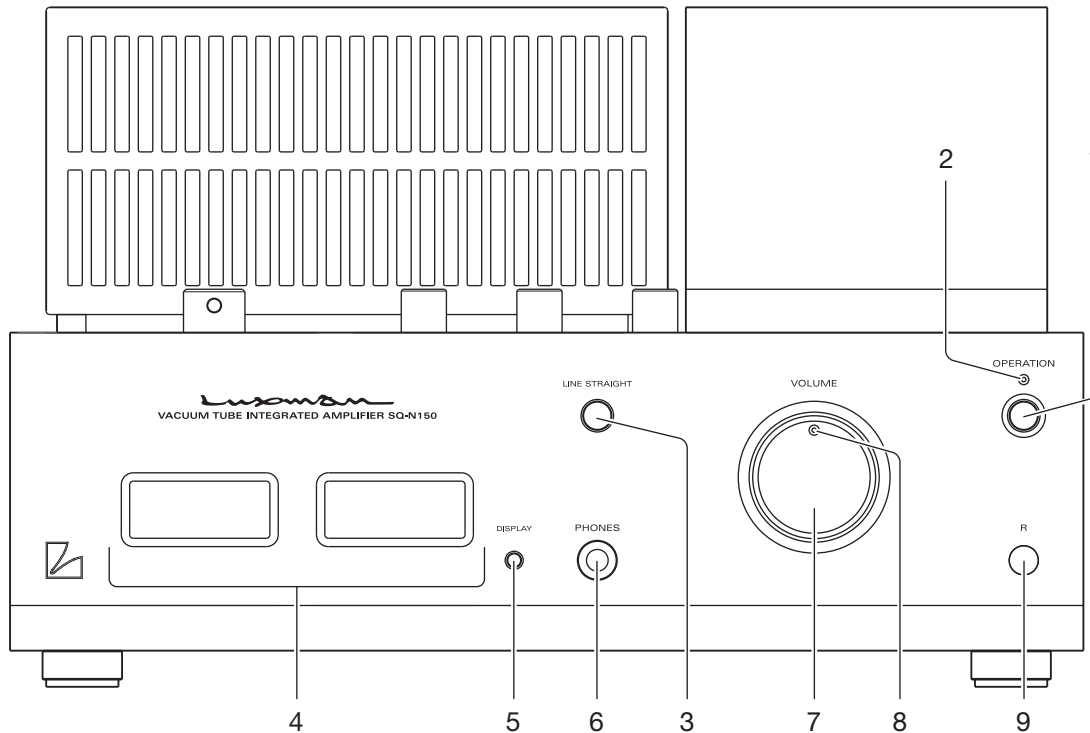
高信頼設計

真空管の動作条件に余裕を持たせた長寿命、高信頼性設計を採用。

リモコン

別売 RA-25 リモコン、または D-N150 付属の RD-27 リモコンよりボリュームコントロールが可能。

本体正面



1. オペレーション・スイッチ (OPERATION)

電源をオン/オフするスイッチです。
配線、接続時には必ずこのスイッチをオフにしてください。オフにしてから、再度オンにするときは1分以上時間を置いてください。

2. オペレーション・インジケータ (OPERATION)

オペレーション・スイッチをONにすると橙色に点灯します。

3. ライン・ストレート・スイッチ (LINE STRAIGHT)

バランス・コントロールやトーン・コントロール回路などをバイパス（飛び越し）することによって音質の純度をより高めるためのスイッチです。

□ OFF : ライン・ストレート・オフ / バイパス・オフ
 ◻ ON : ライン・ストレート・オン / バイパス・オン

ライン・ストレート・スイッチがオンのときには、バランス・コントロール、トーン・コントロールは調節できません。

4. アナログメーター

出力レベルを表示する照明付きのメーターです。

5. ディスプレイ・スイッチ (DISPLAY)

アナログメーターのバックライトをON/OFFするスイッチです。

6. ヘッドフォン・ジャック (PHONES)

ステレオ・ヘッドフォンで聴くときに、この出力ジャックにヘッドフォンのプラグを差し込んでください。プラグを差し込むとスピーカー端子への信号が切れます。プラグを抜くと再びスピーカー端子への信号が出力されます。

ご注意：

プラグを抜くときは、スピーカーから急に大きな音が出ないように、音量を下げからおこなってください。

7. ボリューム・コントロール (VOLUME)

音量を調節するためのつまみです。
左側へ回し切った位置では音が出ず、右に回してゆくと音量が大きくなります。

別売 RA-25 リモコンと D-N150 付属の RD-27 リモコンでも操作できます。

8. ボリューム・インジケータ

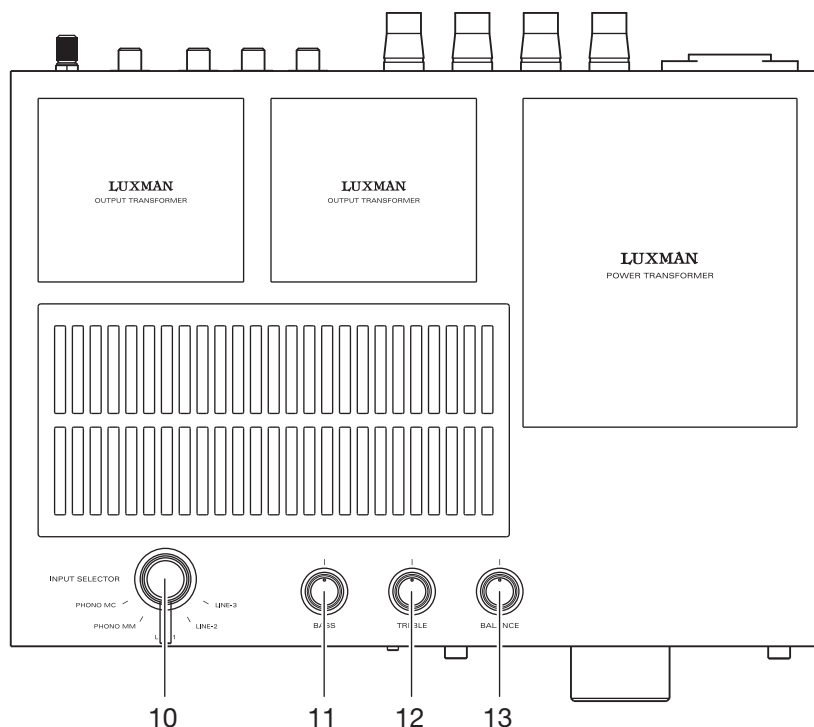
音量レベルの指標となるインジケータです。
オペレーション・スイッチをオンにするとタイム・ミュージング中は点滅し、その後動作状態になると点灯します。また、ミュージング中やリモコンで音量調節をしたときは点滅します。

9. リモコン受光部 (R)

付属のリモコンからの信号を受信するためのセンサーです。センサーの前は塞がないようにしてください。

各部の名称と用途

本体上面



10. インプット・セレクター (INPUT SELECTOR)

CD/ スーパーオーディオ CD プレーヤー、チューナーなど各入力端子に接続した入力機器を選択するためのスイッチです。

PHONO MC、PHONO MM、LINE-1、LINE-2、LINE-3 の5つの位置があり、再生したい入力系統の位置に合わせて、入力を選択します。

PHONO についてはイコライザーアンプのゲインがカートリッジに応じて異なるため、下記のように選択します。

PHONO MC：出力電圧が低い MC（ムービング・コイル）型カートリッジを使用時に選択します。MM 型カートリッジを使用中に“MC”にすると、音量が大きくなり、インピーダンスの関係で高域が出ないバランスのくずれた音になりますのでご注意ください。

PHONO MM：高出力電圧の MM（ムービング・マグネット）型カートリッジを使用時に選択します。

11. 低域用トーン・コントロール (BASS)

低音域の周波数特性を変化させるためのレベル・コントロールです。

中央位置でフラットな周波数特性になり、これより右に回せば低音域が増強し、左に回せば減衰します。

なお、ライン・ストレート・スイッチがオンの状態では調節できません。

12. 高域用トーン・コントロール (TREBLE)

高音域の周波数特性を変化させるためのレベル・コントロールです。

中央位置でフラットな周波数特性になり、これより右に回せば高音域が増強し、左に回せば減衰します。

なお、ライン・ストレート・スイッチがオンの状態では調節できません。

13. バランス・コントロール (BALANCE)

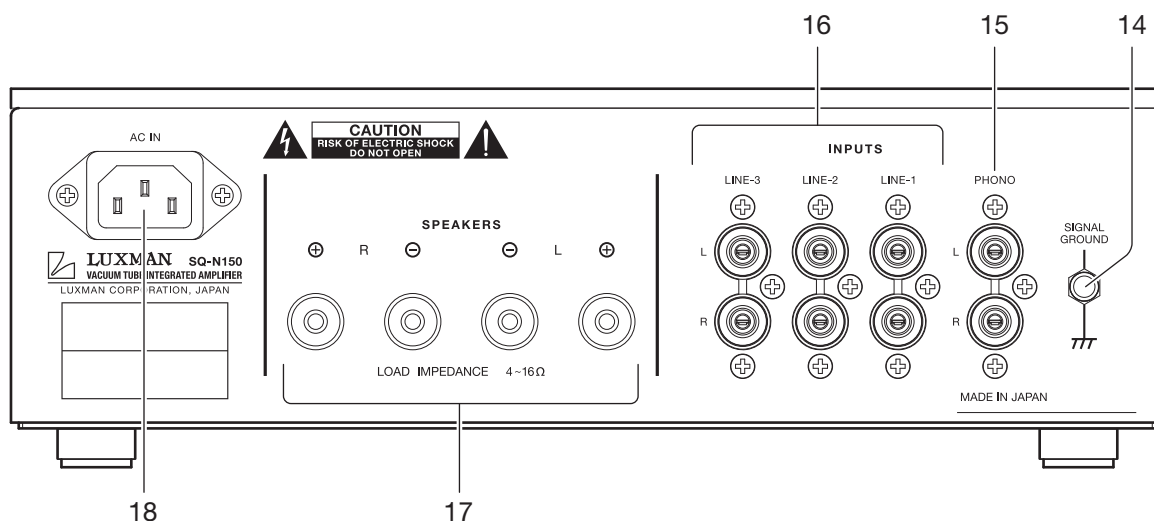
左右チャンネル間の音量バランスを調節するためのつまみです。

左に回せば音量のバランスが左に片寄り、右に回せば音量のバランスが右に片寄ります。

通常は中央位置で使用し、必要に応じて調節してください。

なお、ライン・ストレート・スイッチがオンの状態では調節できません。

本体後面



14. シグナル・グラウンド端子 (SIGNAL GROUND)

本機に接続する機器のアース用端子です。この端子は他の機器を接続した場合の雑音の低減をはかるためのもので、アナログレコード・プレーヤーやトーンアームと接続します。安全のためのアースではありません。

15. フォノ入力端子 (PHONO)

アナログレコード・プレーヤーやトーンアームから出力される RCA ピンケーブルの入力端子です。アナログレコード・プレーヤーによってはフォノイコライザーアンプ内蔵のものが 있습니다。この場合はプレーヤー側のイコライザーアンプをオフにご使用ください。

この端子に CD プレーヤー等、出力の大きい機器を接続しないでください。音割れが生じ正常な再生ができません。

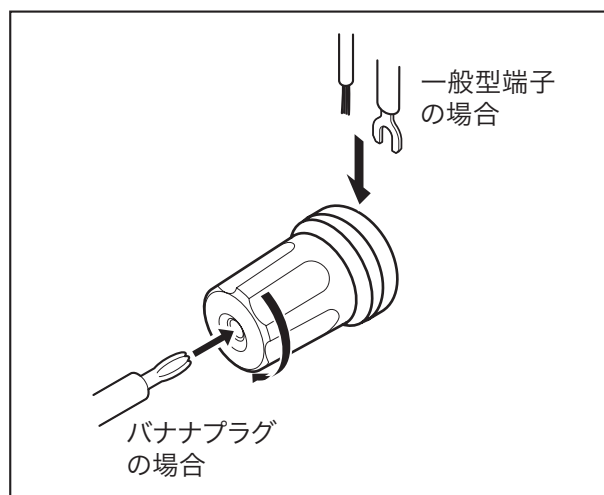
※出荷時には雑音を防止するショート・ピン・プラグが挿入されています。使用する場合はショート・ピン・プラグを外してご使用ください。

16. ライン入力端子 (LINE-1、LINE-2、LINE-3)

CD/DVD プレーヤー、スーパーオーディオ CD プレーヤー、チューナー、ビデオデッキ、TV 音声などのハイレベル信号入力のための端子です。これらの入力端子はすべて同じ働きをします。

17. スピーカー端子 (SPEAKERS)

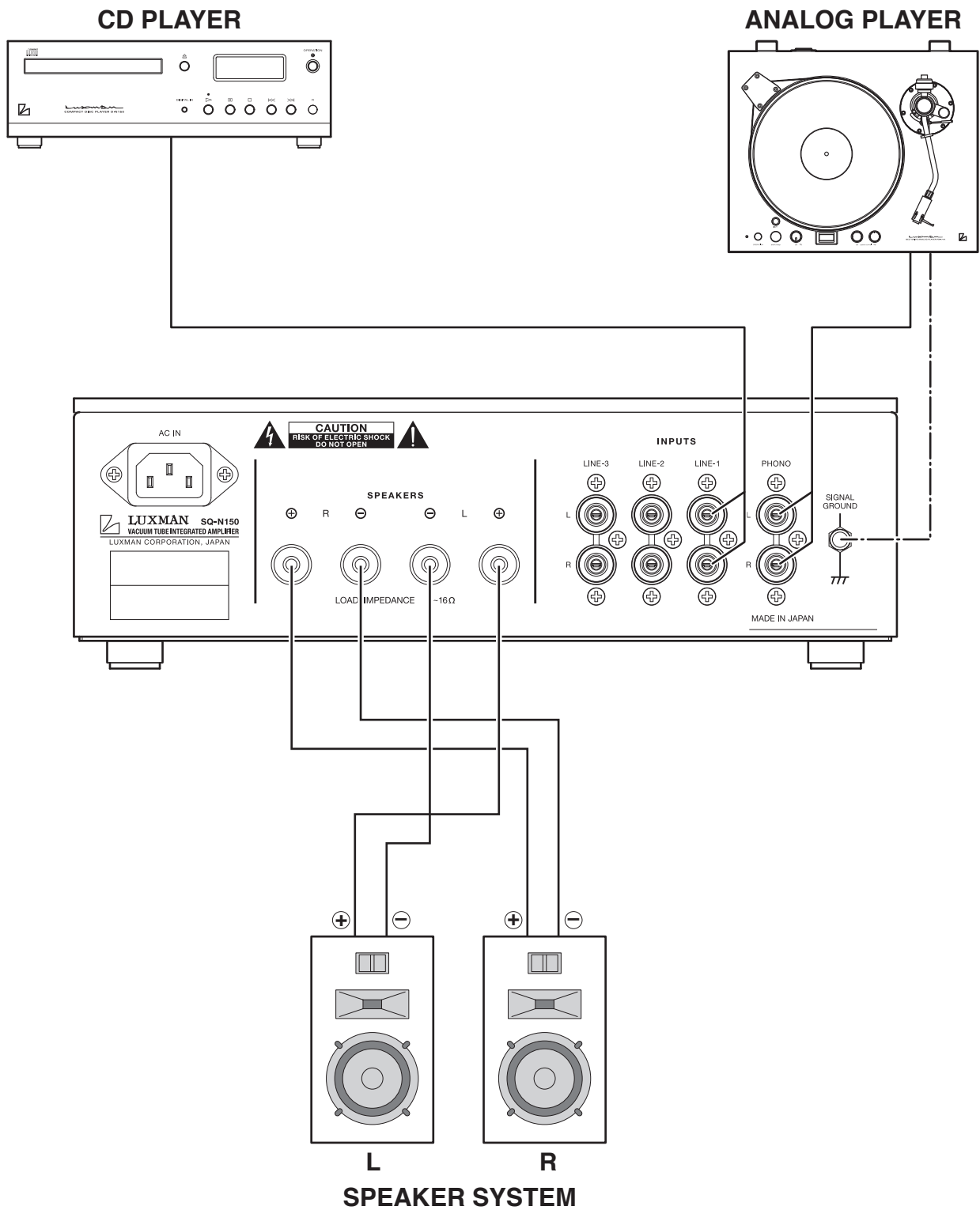
この端子にスピーカーシステムを接続します。RIGHT 側 (R) には右スピーカーの端子を、LEFT 側 (L) には左スピーカーの端子を、極性を合わせて接続してください。



18. AC インレット (AC IN)

付属の電源ケーブルを接続します。電源は AC100V 家庭用コンセントをご使用ください。

接続方法



接続する前に

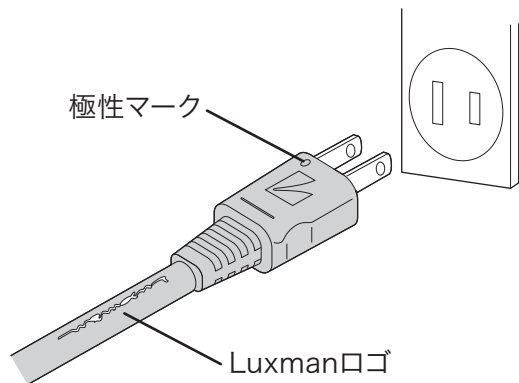
他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック部（穴が3つある方）を本機の AC インレットに接続してください。

接続するときは、思わぬノイズの発生による事故を防止するため、本機の電源と併用機器の電源をすべてオフにしてください。

電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、AC プラグをリスニングルームなどにある AC100V のコンセントに差し込んでください。プラグにある極性マークがコンセントに向かって左側になるように（ケーブルの Luxman ロゴが見えるように）AC プラグを差し込むと、電源極性が正しく設定されます。

一般的に AC コンセントは、向かって左側の若干長い穴が接地用端子（W 表記）になっています。



CD プレーヤー、スーパーオーディオ CD プレーヤー、D/A コンバーター、チューナーなどの接続

CD プレーヤー、スーパーオーディオ CD プレーヤー、D/A コンバーター、チューナー等の入力機器の OUTPUT 端子（出力端子）と、本機の LINE-1 入力端子間を L、R 2 本のピンケーブルで接続してください。

LINE-2、LINE-3 の入力端子も LINE-1 と同様の接続をすることで LINE-1 入力端子と同等の再生をすることができます。

アナログレコード・プレーヤーの接続

アナログレコード・プレーヤーの出力端子と本機の PHONO 端子間を L、R 2 本のピンケーブルで接続します。プレーヤーによってはフォノモーターやトーンアームからのアース線を本機のアース端子に接続します。

本機のフォノイコライザー部は MM、MC カートリッジに対応しています。出力電圧の低い MC カートリッジをお使いの場合はインプット・セレクターを PHONO MC に、出力電圧の高い MM カートリッジをお使いの場合は PHONO MM にしてお使いください。

フォノイコライザー付のアナログレコード・プレーヤーまたは、単体のフォノイコライザーの出力は、本機の LINE 入力端子に接続してください。

スピーカーの接続

本機の L 端子に左チャンネル用のスピーカーを、R 端子に右チャンネル用のスピーカーを接続してください。

スピーカーシステムの ⊕ 端子を本機のスピーカー端子の赤（⊕側）端子に、スピーカーシステムの ⊖ 端子を本機のスピーカー端子の黒（⊖側）端子に、確実に接続してください。

このとき、左右スピーカーシステムの（どちらか一方の）⊕ 端子、⊖ 端子を逆に接続すると、左右のスピーカーシステムから再生される音波の位相が逆になり、低音が減少したり、音の定位が悪くなるなど、正常なステレオ再生ができなくなりますので、十分に注意してください。

操作方法

操作する前に

1. 接続が確実に行われているか確認してください。(L、R や ⊕、⊖ の接続に誤りがあると正常な再生ができません)
2. 電源オン/オフ時やインプット・セレクターを切り替えるときは、ボリューム・コントロールを最小にしてから行ってください。

再生の手順

1. ボリューム・コントロールの音量が下がっていることを確認し、オペレーション・スイッチを押してオンにします。
2. 再生するソースをインプット・セレクターで選択します。
3. 音量をボリューム・コントロールで調節します。
4. 再生するソースに応じてライン・ストレート・スイッチ、バランス・コントロール、トーン・コントロールを操作します。

ボリュームの操作は、別売の RA-25 リモコン、または、CD プレーヤー D-N150 付属の RD-27 リモコンより行うことも可能です。

ライン・ストレート・スイッチの操作

インプット・セレクターで選んだソースの純度を高めるため、最短の信号経路で再生するとき使用します。このスイッチがオンのときは、バランス・コントロールとトーン・コントロールはバイパスされます。

バランス・コントロールの操作

左右チャンネル間の音量バランスを調節することができます。

左右チャンネル間の音量バランスの調節が不要なときは、中央位置で使用します。

ライン・ストレート・スイッチがオンのとき、このバランス・コントロールは働きません。

トーン・コントロール機能の操作

本機のトーン・コントロール機能は、低域用 (BASS) と高域用 (TREBLE) があります。

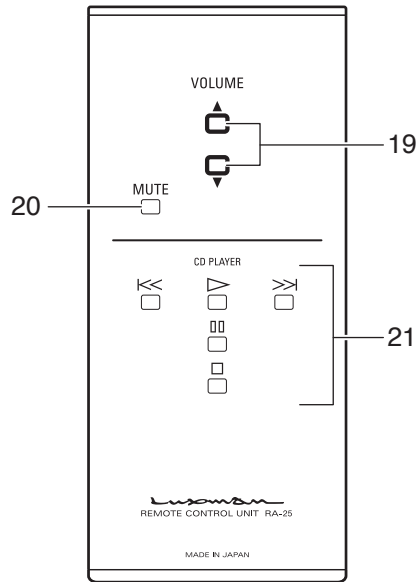
それぞれ、中央位置でフラットな周波数特性になっており、BASS を右に回すと低音域が増強され、左に回すと減衰します。

同様に TREBLE を右に回すと高音域が増強され、左に回すと減衰します。

なお、低域用も高域用も左右チャンネルが連動して働きます。

ライン・ストレート・スイッチがオンのとき、このトーン・コントロールは働きません。

別売リモコン (RA-25)



19. ボリューム (VOLUME, ▲, ▼)

音量を調節するためのスイッチです。▼で音量を小さく、▲で音量を大きくします。本体のボリューム・コントロールが回転します。

20. ミュート (MUTE)

一時的に消音するためのスイッチです。このスイッチを押してミュート状態にするとボリューム・インジケータが点滅し、音が出なくなります。再び押してミュートが解除されると音が出ます。

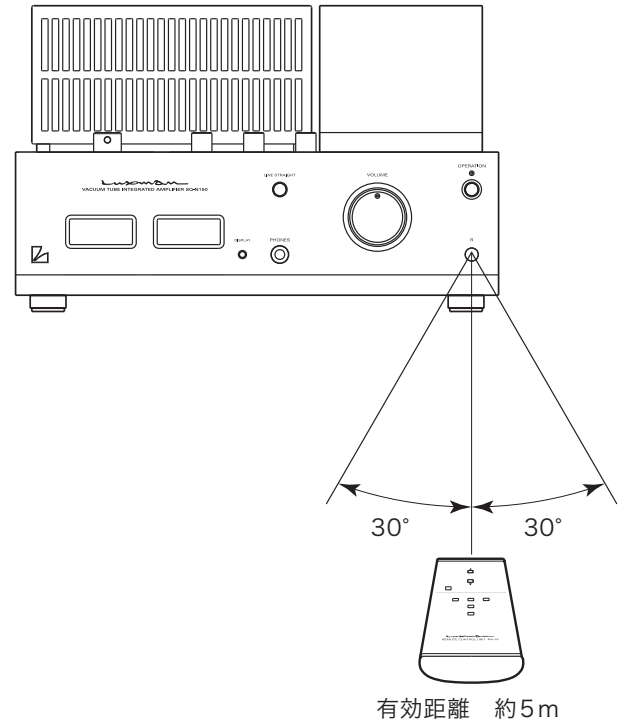
21. CD プレーヤー操作スイッチ (CD PLAYER)

対応した CD/SACD プレーヤーの操作をするためのスイッチです。

対応している CD/SACD プレーヤーは 2018 年 9 月現在 D-N150、D-380、D-08u、D-06u、D-05u、D-08、D-06、D-05、D-10、D-7、D-600、D-700S の 12 機種です。

リモコンについて

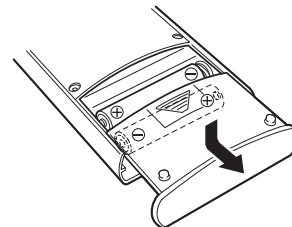
リモコンは、本機のリモコン受光部へ向けて、図の範囲でお使いください。



乾電池について

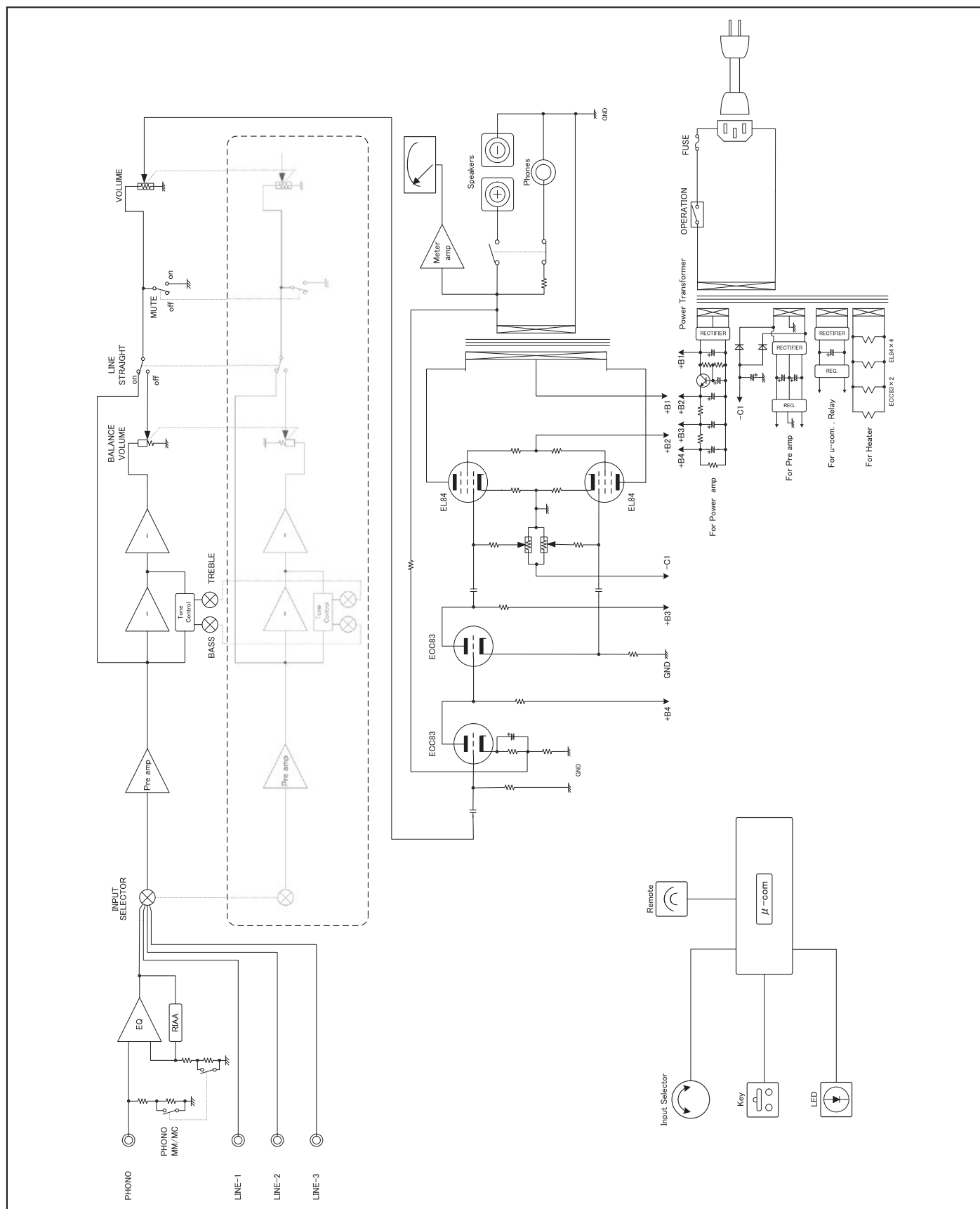
【乾電池の入れ方】

1. リモコンの裏面にあるバッテリー・カバーのツメに指を乗せて、押しながらバッテリー・カバーを下へスライドして開きます。
2. バッテリー・ケースの中の図と同じように付属の単 4 乾電池を入れます。
3. バッテリー・カバーを閉じます。



- ・新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・長い間 (1 ヶ月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。
- ・不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示 (条例) に従って処理してください。

ブロックダイアグラム



定格出力	10 W + 10 W (6 Ω)	
全高調波歪率	1 % 以下 (1 kHz, 10 W / 6 Ω, LINE STRAIGHT “ON”)	
入力感度／入力インピーダンス	PHONO (MM)	: 3.0 mV / 47 kΩ
	PHONO (MC)	: 0.33 mV / 100 Ω
	LINE	: 180 mV / 47 kΩ
S / N 比	PHONO (MM)	: 84 dB 以上 (IHF-A 補正, 3.0 mV 入力)
	PHONO (MC)	: 64 dB 以上 (IHF-A 補正, 0.33 mV 入力)
	LINE	: 95 dB 以上 (IHF-A 補正, 入力ショート, LINE STRAIGHT “ON”)
周波数特性	PHONO (MM)	: 20 Hz ~ 20,000 Hz (± 0.5dB 以内, LINE STRAIGHT “ON”)
	PHONO (MC)	: 20 Hz ~ 20,000 Hz (± 0.5dB 以内, LINE STRAIGHT “ON”)
	LINE	: 20 Hz ~ 80,000 Hz (-3 dB 以内, LINE STRAIGHT “ON”)
トーン・コントロール	BASS	: ± 8.0 dB at 100 Hz
	TREBLE	: ± 8.0 dB at 10 kHz
付属機能	[フロントパネル] ・オペレーション・スイッチ ・ボリューム・コントロール ・インプット・セレクター ・バランス・コントロール ・アナログメーター ・ディスプレイ・スイッチ ・トーン・コントロール ・ライン・ストレート・スイッチ ・ヘッドフォン・ジャック [リアパネル] ・入力端子 ・スピーカー端子 ・シグナル・グラウンド端子 ・AC インレット [リモコン機能] (別売 RA-25、または D-N150 付属の RD-27 使用時) ・ボリューム (アップ / ダウン) ・ミュート (RA-25 使用時のみ)	
回路方式	ドライバー：P-K 分割位相反転回路、出力：ビーム管接続	
使用真空管	EL84 × 4 本、ECC83 × 2 本	
付属品	・電源ケーブル (JPA-10000) ・取扱説明書 (本書) ・保証書 ・安全上のご注意 ・プレミアム延長保証登録申請書	
電源電圧	AC 100V (50/60 Hz)	
消費電力	80W (電気用品安全法による規定)	
最大外形寸法	297 (W) × 188 (H) × 251 (D) mm (奥行きは前面ノブ 20 mm、背面端子 21 mm を含む)	
重量	12.4 kg (本体)	

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

修理に出される前に

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧のうえ、ひと通り確認してください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービス・センターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくても点検代、出張費などをいただくことがあります。

症 状	原 因	対 策
オペレーションスイッチを押しても電源が入らない。	・電源プラグがコンセントから外れているか、確実に差し込まれていない。	・電源プラグをコンセントへ確実に差し込む。
	・電源ジャックが AC インレットから外れているか、確実に差し込まれていない。	・電源ジャックを AC インレットへ確実に差し込む。
電源は入るが音が出ない。 (左右チャンネル共)	・ヘッドフォンが PHONE 端子に接続されている。	・ボリュームを下げヘッドフォンを取り外す。
	・ボリュームがミュートになっている。	・ミュートを解除する。
	・インプット・セレクターが再生するソースの位置にセットされていない。	・インプット・セレクターを再生するソースの位置にセットする。
	・接続ケーブルの接続が不完全。	・接続ケーブルを確実に接続する。
片側だけ音が出ない。	・再生機器の出力レベルが最小になっている。	・出力レベルを調節する。
	・接続ケーブルの片側だけが接続されていない。	・接続を確実に行う。
ハム音（ブーン、またはジーというノイズ）が出る。	・バランス・コントロールが片側に回し切られている。	・通常バランス・コントロールは、中央位置で使用する。
	・ピンケーブルのアース側が端子に接触していない。	・ピンケーブルのアース側が接触するように確実に接続する。
	・レコード・プレーヤーのアース線が接続されていない。	・レコード・プレーヤーのアース線をシグナル・グラウンド端子に接続する。
	・レコード・プレーヤーのカートリッジとシェル、またはシェルとトーンアームの接続・取り付けが不完全。	・カートリッジ、シェル、トーンアームを確実に接続（取り付け）する。
	・接続ケーブルと電源ケーブルが接近しすぎている。	・接続ケーブルと電源ケーブルを離す。
・他機器の電源トランスから誘導をノイズを受けている。	・他機器から離して設置する。	
トーン・コントロール、バランス・コントロールの効果が現れない。	・ライン・ストレート・スイッチがオンになっている。	・トーン・コントロール、バランス・コントロールなどを使用するときは、ライン・ストレート・スイッチをオフにする。
パワーメーターの照明が点灯しない。	・ディスプレイ・スイッチがオフになっている。	・ディスプレイ・スイッチをオンにする。

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービス・センターまたはご購入店までご連絡ください。状況に応じた修理をさせていただきます。

本機の保証期間はご購入日より起算して標準2年間、または、プレミアム延長保証適用の場合3年間（ただし、真空管などの消耗品は1年間）です。

標準2年間の保証書およびプレミアム延長保証登録申請書は本機のパッキングケース内に入っています。

プレミアム延長保証適用条件

弊社正規取扱店での購入証明（領収書やレシートの複写）を貼り付けたプレミアム延長保証登録申請書を弊社宛てにご返送ください。
※正規取扱店につきましては、弊社ホームページをご覧ください。弊社営業部までお問い合わせください。

- プレミアム延長保証制度では、製品に同梱される保証書による標準2年間の保証に加え、下記に分類する製品の種類により、保証期間を延長いたします。保証期間につきましては、後日お届けいたします「クラブ・ラックスマン」カードに記載されます。「クラブ・ラックスマン」カードはプレミアム延長保証適用の保証書となります。
- 製品別プレミアム延長保証期間
プラス5年（計7年間保証）：トランジスターアンプ、D/Aコンバーター
プラス1年（計3年間保証）：真空管アンプ、CD/SACDプレーヤー、アナログプレーヤー
（現保証期間が5年間の製品は7年間、真空管等の消耗品は1年間となります。）
- プレミアム延長保証が適用とならない場合は、標準の2年間保証となり、修理の際は、製品に同梱される保証書と購入証明が必要となりますので、大切に保管してください。プレミアム延長保証が適用とならない場合は以下のとおりです。
 - ・ご購入店が弊社正規取扱店でない場合
 - ・「プレミアム延長保証登録申請書」のご送付が無い場合
 - ・弊社正規取扱店の購入証明が無い場合
 - ・購入証明の日付が弊社出荷日と著しく異なる場合（プレミアム延長保証登録をせず転売された場合等）

保証規約

製品は厳密な品質管理及び検査を経て出荷されておりますが、万一の自然故障の際には、ご購入店もしくは弊社サービスセンターまでお問い合わせください。保証の条件は以下記載のとおりです。

- 万一の自然故障につきましてはご購入日より保証書または「クラブ・ラックスマン」カード表面記載の保証期間無償修理いたします。（ただし真空管等の消耗品は1年間）
- 保証書およびご購入日を証明する領収書等または「クラブ・ラックスマン」カードのご提示がない場合、また保証期間外の修理の場合は有償にて承ります。
- 保証期間内であっても次の様な場合は保証対象外となり、修理は有償にて承ります。
 - ・保証書およびご購入日を証明する領収書等または「クラブ・ラックスマン」カードのご提示がない場合
 - ・使用上の誤り、改造、業務目的または海外でのご使用による故障、損傷
 - ・本製品以外（電源等）の原因による故障
 - ・火災、地震、水害、落雷およびその他の天変地変等による故障または損傷
 - ・オーバーホールおよび動作チェック等の点検作業
- 修理料金につきましては、予告なく変更することがあります。
- 本保証書および保証制度は日本国内のみ有効であり、海外でのご使用時には適用されませんので、ご注意ください。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書および「クラブ・ラックスマン」カードの紛失、盗難等による再発行は、原則としていたしませんので、大切に保管してください。また、保証書およびカードの不正な使用、改造の場合、保証効力が失効する場合がありますのでご注意ください。
- 修理品につきましては、ご購入店にご相談いただくか、直接弊社宛てにご送付ください。製品の梱装箱等はできるだけ保管いただきますようお願いいたします。
- プレミアム延長保証期間中の修理品輸送費につきましてはお客様負担となります。
- 修理品をご送付いただく場合は、輸送中の破損等の事故が無いようご注意ください。弊社では輸送中の事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 修理のご依頼、お問い合わせにつきましては、別紙のサービス情報をご覧ください。

MEMO

